

《最近の県内経済》 (2024年6月を中心として)

今月の概要

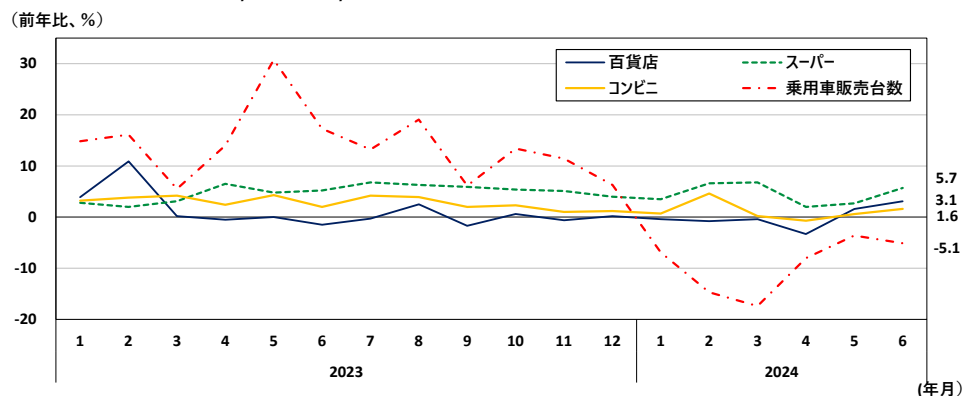
横ばいの動きとなっている。



1 個人消費 ~横ばいの動きとなっている

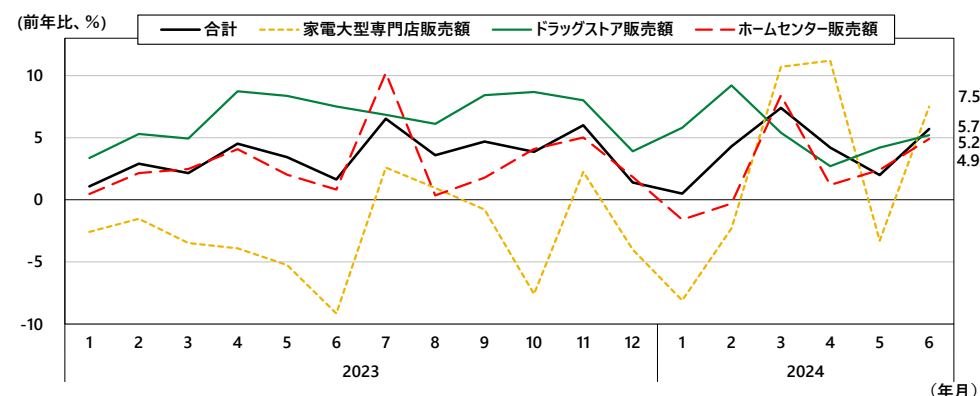


百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、横ばいの動きとなっている。

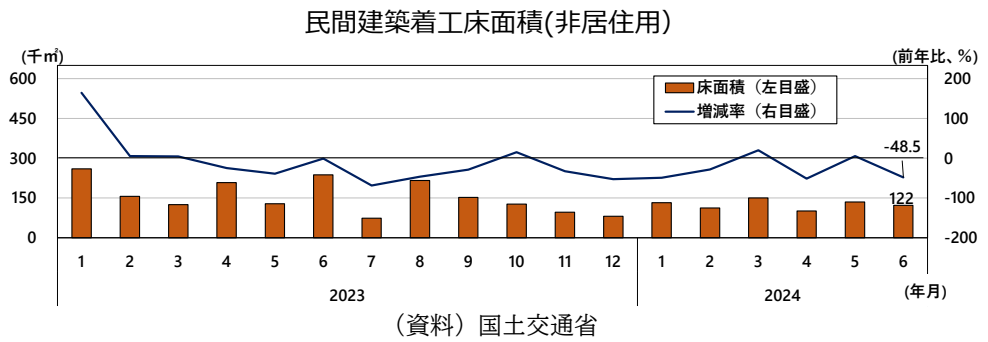
6月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は127億円で前年比3.1%増（2か月連続の増加）、スーパーは1,068億円で同5.7%増（21か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は568億円で同1.6%増（2か月連続の増加）となった。

また、乗用車販売は、前年比5.1%減と6か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車が同0.9%減（3か月ぶりの減少）、小型車が同15.7%減（10か月連続の減少）、軽乗用車が同3.9%減（7か月連続の減少）となった。

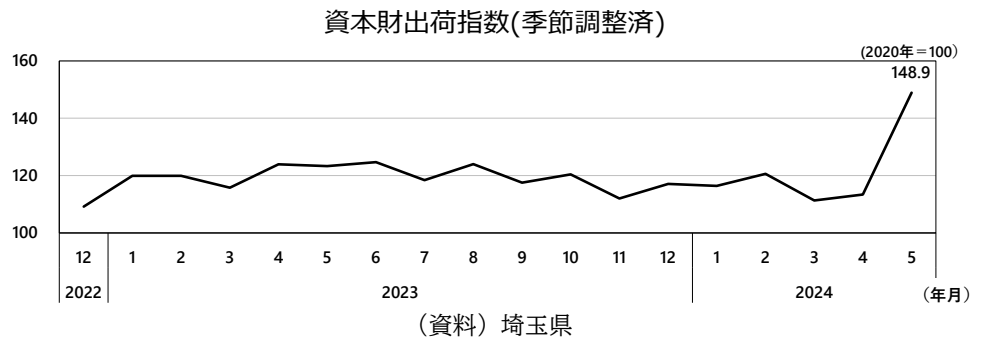
6月の専門量販店販売額は、818億円で前年比5.7%増と22か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が191億円で同7.5%増（2か月ぶりの増加）、ドラッグストアが435億円で同5.2%増（25か月連続の増加）、ホームセンターが192億円で同4.9%増（4か月連続の増加）といずれも増加となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、5月〈37.5〉、6月〈37.4〉、7月〈37.6〉と推移している。

## 2 設備投資 ~投資計画は強いものの、足元弱含んでいる ➡ 前月比

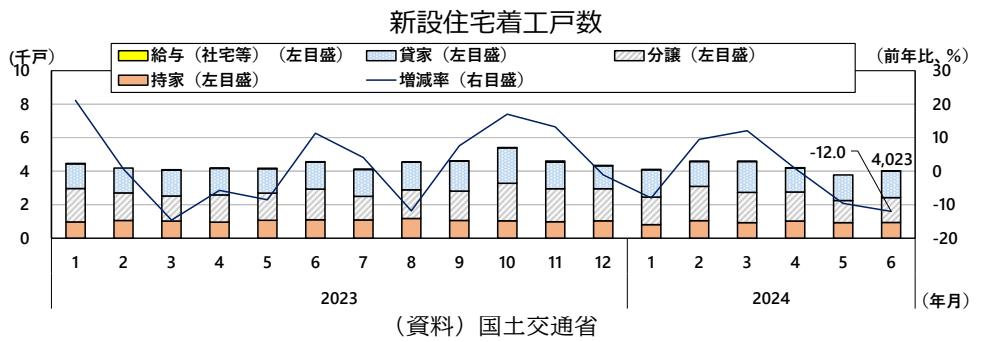


6月の民間建築着工床面積（非居住用）は、122千㎡で前年比48.5%減と2か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均でも前年比27.4%減）。用途別にみると、事務所、店舗、工場及び作業場、学校の校舎、病院・診療所はいずれも増加したものの、倉庫は減少した。



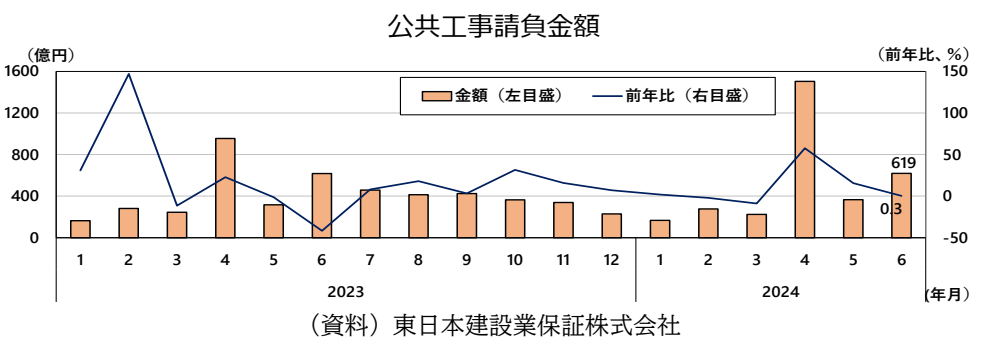
5月の資本財出荷指数（季節調整済）は148.9で、前月比31.3%増と2か月連続の増加となった。（5か月後方移動平均でも、前年比6.4%増加）。

## 3 住宅建設 ~一進一退 ➡ 前月比



6月の新設住宅着工戸数は、4,023戸で前年比12.0%減と2か月連続の減少となった（5か月後方移動平均でも0.1%減）。利用関係別にみると、持家（939戸）が同14.9%減、貸家（1,586戸）が同1.6%減、分譲マンション（505戸）が同18.9%減、分譲一戸建て（965戸）が同20.0%減といずれも減少した。

## 4 公共工事 ~底堅く推移している ➡ 前月比

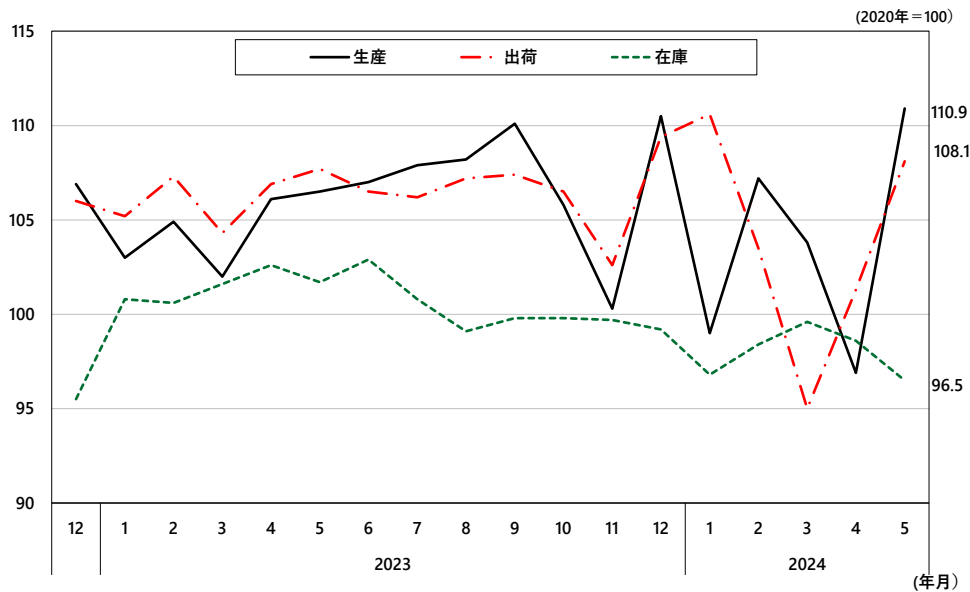


6月の公共工事請負額は619億円、前年比0.3%増となった（3か月連続の増加）。5か月後方移動平均でも前年比23.7%増で推移。発注者別の前年比をみると、独立行政法人等、都道府県は減少したものの、国、市区町村、地方公社は増加した。

## 5 生産活動 ～一進一退



鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



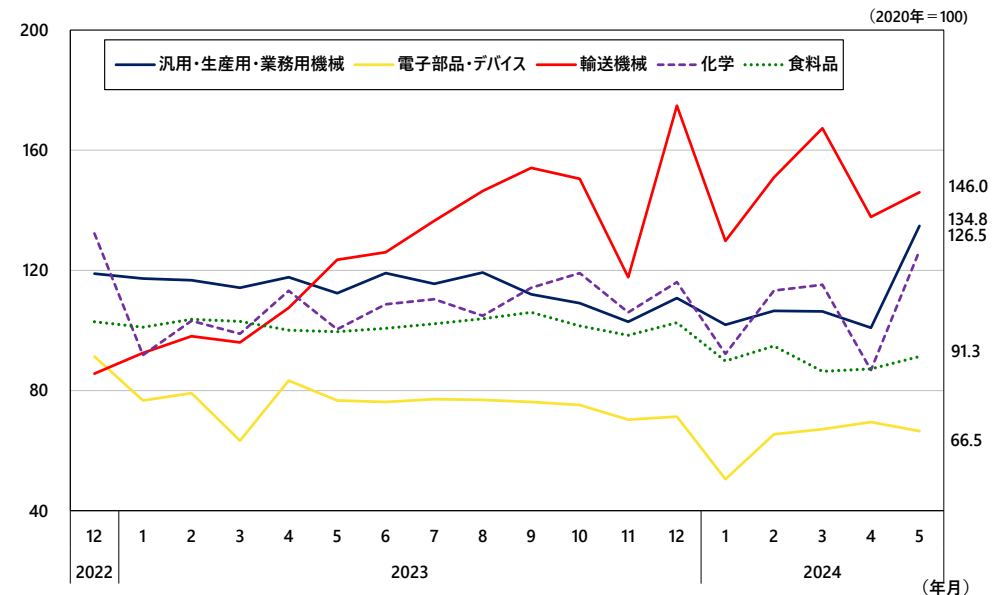
(資料) 埼玉県

5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、110.9で前月比14.4%上昇した(3か月ぶりの上昇)。電子部品・デバイス(混成集積回路、電子回路基板)、木材・木工製品(住宅建築用木製組立材料、木材チップ)などが低下したが、化学(医薬品、印刷インキ)、生産用機械(半導体製造装置、包装・荷造機械)などが上昇した。

出荷指数(同)は、108.1で同6.7%上昇した(2か月連続の上昇)。情報通信機械(ガス警報器、交換機)、繊維(織物製繊維製品、ニット製外衣)など低下したが、生産用機械(半導体製造装置、整地機械)、輸送機械(けん引車、航空機用部品)などが上昇した。

在庫指数(同)は、96.5で同2.1%低下した(2か月連続の低下)。電子部品・デバイス(混成集積回路、整流素子)、食料品(精米、味噌)などが上昇したが、生産用機械(整地機械、食料品加工機械)、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック板)などが低下した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



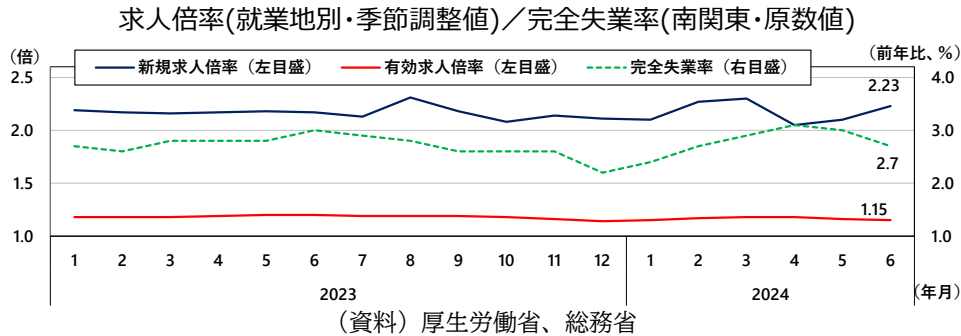
(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、134.8で前月比33.7%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、66.5で同4.3%低下し、4か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、146.0で同6.0%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、126.5で同45.7%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 食料品(同)は、91.3で同4.7%上昇し、2か月連続の上昇となった。

## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している



前月比



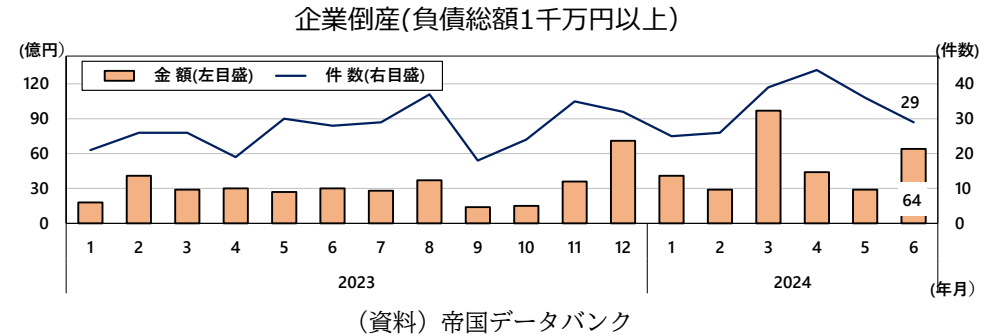
6月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.15倍で前月比0.01倍低下(2か月連続の低下)、新規求人倍率(同)は、2.23倍で同比0.13倍上昇(2か月連続の上昇)となった。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.7%で前年同月比0.3倍低下した(前年同月比5か月ぶりの低下)。

## 7 企業倒産 ~増加傾向にある



前月比



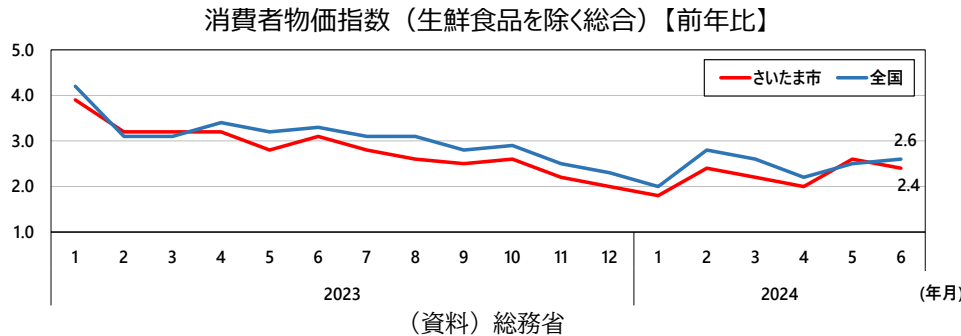
6月の企業倒産件数は29件で前年同月比1件の増加となった。また、負債総額は64億円で同34億円の増加となった(5か月移動平均でも、件数は前年比9件の増加、負債総額は同20億円の増加)。

業種別にみると、建設業が最多で7件、次いで卸売業、小売業、サービス業が6件となっている。主因別では、販売不振が26件となっている。

## 8 消費者物価 ~上昇率が高止まりしている



前月比



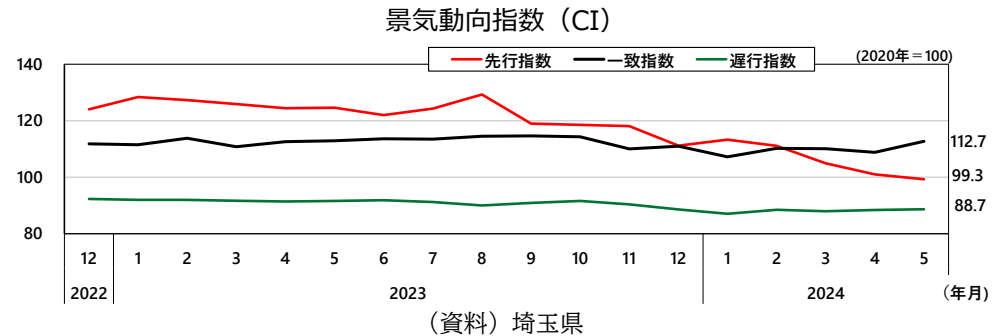
6月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、107.0で前年同月比2.4%上昇した(33か月連続の前年同月比上昇)。

教養娯楽(旅行費など)、光熱・水道(電気代)などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~足踏みを示している



前月比



- 5月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、112.7で同3.9倍上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、99.3で同1.7倍下降し、4か月連続の下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、88.7で同0.3倍上昇し、2か月連続の上昇となった。